



報道関係各位

2013年5月17日

**モリタ環境テック、東京ビッグサイトで開催の【2013NEW 環境展】へ  
マルチセンサー選別機「VARISORT バリソート」を出展  
～ 廃棄物をより価値の高い資源に変える～**

消防車の開発・製造・販売を手がける株式会社モリタホールディングス(本社:大阪・東京、代表取締役社長:中島正博、東証・大証1部)の100%子会社、株式会社モリタ環境テック(本社:千葉県船橋市、代表取締役社長:北村賢一)は、2013年5月21日～24日に東京ビッグサイトで開催されるアジア最大級の【2013NEW 環境展】に有価物・不純物をとことん選別し、より価値の高い資源として再生できるマルチセンサー選別機「VARISORT バリソート」を展示いたします。



マルチセンサー選別機「VARISORT バリソート」

本選別機は、高解像度のセンサーを最大3種類組み合わせることで、いままでセンサー単品ではできなかった多様な選別ができます。例えば、廃自動車・廃家電・廃プラスチックなどの破碎物でダストとして廃棄処理していたものでも、このバリソートに投入することで、価値ある資源に生まれ変わります。また、多様な選別が1台で済むため、設置スペースや費用も節約となりコスト削減につながります。現在、金属スクラップリサイクルでは鉄・非鉄(アルミ・銅・ステンレス等)・ダストに選別した後、鉄・非鉄は資源化、ダストは廃棄処理しています。

こうした日本国内の市場において、当社はドイツのS+S社(セパレーション・アンド・ソーティング・テクノロジー社)と販売提携しました。このマルチセンサー選別機を提供することで、廃棄処分するダストからさらに有価物を回収し資源化、そしてダストを減量化することで処理費用を軽減します。

さらに廃家電リサイクルではプラスチック素材のマテリアルリサイクルに取り組んでおり、マルチセンサー選別機を提供することで、素材別に選別し、より高純度のリサイクル素材へと価値を高めます。

## 「VARISORT バリソート」の特長

3種類の高解像度センサーを組み合わせることで多様な選別ができる。

### ・カラーセンサー

選別物に光を当て、反射した波長をセンサーが読み取り、色別に選別。

### ・近赤外線センサー

選別物に近赤外線を当て、反射した波長を読み取り、プラスチックを材質ごとに分別。

### ・メタルセンサー

選別物中の金属を検知。多様な種類の金属を確実に選別。

### パソコン操作で手軽に監視・・・独自のビジュテックデータ管理システムを搭載。

オフィスのパソコンとネットワークでつなぐことで、選別機の稼働状況や選別状況を監視できます。また、パソコンの画面上で選別物のパラメータの設定・変更が簡単にできます。

### ハイスピードで選別・排出

高解像度センサーと最先端信号処理技術により、高い検知精度を実現。よりスピーディに、より確実に選別します。

### メンテナンスも安心・簡単

すべての部品をモジュール化。修理や部品交換にもスピーディに対応します。

型式： VARISORT CMN 1024 (バリソート)

サイズ： 全長 5.5m × 全幅 2.4m × 全高 2.3m

重量： 2,850kg

価格： 8,000万円(本体+付帯一式)

本件に関するお問合せ先

株式会社モリタホールディングス 広報室 担当：浦野 TEL.03-5777-5088

E-mail: Hiroko.Urano@morita119.com